

街がステージ！かけがわに演劇のお祭りがかえってくる！ ふじのくに野外芸術フェスタ 2020 in 掛川

「大日本報徳社」を舞台に、オリジナルのドタバタ喜劇を新演出で上演

平素より、SPAC・静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

来たる10月31日・11月1日の2日間、掛川市の代表的な名所として親しまれる国指定重要文化財「大日本報徳社」で、「ふじのくに野外芸術フェスタ 2020 in 掛川」を開催いたします。

「ふじのくに野外芸術フェスタ」は、広場や公園、路上など、身近な場所で演劇に出会えるお祭りです。2013年より静岡市をはじめ浜松市・三島市・藤枝市・袋井市など県内各地で、国内外のアーティストが野外パフォーマンスを行ってきました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、5月に予定されていた静岡市・駿府城公園でのSPACによる『アンティゴネ』の上演は中止となりましたが、様々な感染予防対策を徹底した上で、掛川での実施の運びとなりました。

上演作品は、2018年の「野外芸術フェスタ in 掛川」で会場を沸かせたオリジナル野外劇『おおっと ええっと ええじゃないか』。「経済」と「道徳」の両立を解いた二宮尊徳の「報徳思想」の普及拠点である大日本報徳社にちなみ、シェイクスピアの『ロミオとジュリエット』をベースに「経済家」と「道徳家」の両家をめぐるドタバタ喜劇に仕立てました。今回は、SPACで俳優としても活躍する寺内亜矢子による新演出でお届けします。青空の下、秋風を感じ歴史に思いを馳せながら、しばし非日常のひとつときをお楽しみください。

ふじのくに野外芸術フェスタ 2020 in 掛川

『おおっと ええっと ええじゃないか』

無料・予約不要

演出：寺内亜矢子 (SPAC) 台本：山田裕幸 (ユニークポイント)

出演：泉陽二、大石宣広、蔭山ひさ枝、片岡佐知子、榊原有美、桜内結う
ながいさやこ [五十音順]

◆公演日：10月31日(土)・11月1日(日) 各日13:30/15:30開演

◆上演時間：30分(予定)

◆会場：大日本報徳社大講堂前 広場 (荒天時：大日本報徳社大講堂内)

詳細はSPAC公式サイトへ <https://spac.or.jp> 主催：ふじのくに野外芸術フェスタ実行委員会 協力：掛川市、かけがわ茶エンナーレ実行委員会



2018年の上演の様子(演出：山田裕幸)

大日本報徳社



二宮尊徳(金次郎)が提唱した「報徳思想」の普及拠点。明治36年(1903年)に建てられた木造・大規模近代和風建築の大講堂は、国の重要文化財に指定されている。<https://houtokusya.com>

[アクセス]

JR「掛川駅」北口より徒歩10分

※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。 ※お車の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。

演出家プロフィール



寺内 亜矢子(てらうち・あやこ)

1997年、ク・ナウカ シアターカンパニーにて演劇活動開始。2007年の劇団休止後は、SPACを主な拠点に国内外の舞台に出演するほか、東京藝術大学にて身体表現教育に携わる。俳優のみならず、演奏構成・演出・通訳も手がける国際派マルチプレイヤー。

「ふじのくに野外芸術フェスタ2020 in 掛川」に関するお問い合わせや取材のご希望は、「SPAC・静岡県舞台芸術センター 広報担当 内田」までご連絡下さい。

Tel:054-208-4008(舞台芸術公園) / Fax:054-203-5732 / E-mail:uchida@spac.or.jp